

道3事業を統合し水道事業の効率化を図るとともに、水源の運用を広げ「未給水区域」の解消と安定した水の供給に努めます。

現在検討が進められているJR三江線問題についても、沿線の皆様の生活交通を確保するため、関係者と十分協議を行います。あわせて、国道54号沿線活性化のため、道の駅の整備について、慎重に協議・検討します。

光ネットワークを活用した新たな行政サービスの提供についても、健康管理や見守りサービスの事業化に向け、調査・研究します。

●安心・こころを育むまちづくり 【安全安心対策】

○安全安心のための施設整備

高度経済成長長期に集中して建設された公共建築物は老朽化が進み、維持更新あるいは解体除去も含めて計画的かつ効率的に対応していく必要があります。「安芸高田市公共施設等総合管理計画」において掲げた「公共施設の総延床面積の30%以上縮減」の目標に向けて、「公共施設の配置適正化」

に取り組みます。

○インフラの安全の確保

公共施設の改修事業、通学路安全対策・市道機能強化事業を含めて、市民の安心な利用に向け、インフラの安全確保、公共施設の改修等に努めます。

また、危険空き家の解消に向け、解体補助制度を創設し、所有者に対して危険空き家の適正な管理を促します。

○安全安心のための活動

地域における防災意識の高揚のため、地域振興会等を中心とした自主防災組織の設立や育成の支援を継続します。

災害時には、災害対応マニュアルに基づき、市消防本部・消防署及び消防団との緊密な連携の下、万全の体制で対応する必要があります。より細やかな対応を目指し、今年度より女性消防団員が誕生しました。引き続き女性を含めた消防団員の確保に力を入れるとともに、消防車両や防火水槽等についても、計画的に整備します。

地についても整備を推進し、雇用の創出を図るとともに、参入される法人等と連携して、生産から出荷までの様々なノウハウを活かした、安全安心な農産物の安定的な供給を目指します。

○有害鳥獣対策

シカ・イノシシ等の有害鳥獣対策については、鳥獣被害対策実施隊、有害鳥獣捕獲班の活動を強化するとともに、狩猟資格後継者育成事業、防護策等設置助成を継続します。ジビエの特産化については、食肉加工施設の改修を行い、ジビエの活用研究・商品開発・販売促進を強力に推進します。

○商工業者の支援

商工業者の支援については、既に整備されています高速通信網の光ファイバーと、市内の使われていない公共施設や空き家を活用して、サテライトオフィスなどの企業誘致を推進します。

また、市内に立地した企業に対する奨励金制度、起業支援の推進により地域産業の振興に努めます。更には、市内の高校生の就労

○市民総ヘルパー構想

これまでも、「市民総ヘルパー構想」を唱え、「自分たちの健康は、自分たちで守る」という精神のもと、新たな「互助・共助」のかたちを創り出す取組を進めてきました。高齢者が可能な限り住みなれた地域や家庭で、安心して自分らしい生活を、人生の最後まで続けられるよう、「市民総ヘルパー構想」の考えを継続しつつ、新たに地域包括ケア構築に係る地域機能の整備を図るため、モデル地区を定める生活支援員を配置し、住民の主体的な取組による高齢者支援体制の確立を目指します。

○地域医療体制の充実

医師会、歯科医師会、地域の中核病院でありますJA吉田総合病院とも連携し、地域医療体制の充実・機能強化を図ります。JA吉田総合病院の「休日・夜間救急診療所」の運営についても、引き続き財政支援を行います。

○障害者福祉の充実

障害者福祉の推進については、地域社会における共生の実現を図

活動を支援し、地元企業への就職につなげる高校生キャリア育成事業も推進します。

○地域の魅力の発信

本市は豊かな歴史、独特の文化、多彩な観光資源など、数多くの「宝」と「強み」があります。「住みたいまちとしての魅力」をより一層高めていきます。そして、その魅力を積極的に市内外へ情報発信し、Uターン・Iターン等の移住者増加につなげていきます。また、本市の応援団「ふるさと応援の会」の力を借り、市外からの視点を活かし、安芸高田の魅力づくりにつなげていきます。

○地域の歴史・文化・スポーツ等を活用した地域活性化

本市の宝の一つである「神楽」を活用した観光振興・地域振興施策については、「高校生の神楽甲子園」や「ひろしま安芸高田神楽東京公演」が大きな反響を呼ぶなど、年を重ねるごとに着実に成果を挙げているところです。その成果の一つとして地元安芸高田市を舞台としたNHKドラマの放送が

るべく、障害者福祉サービスの維持・向上に努めるとともに、障害者の自立と社会参加を目的とした支援や本人とその家族に対する相談・支援体制の充実に努めます。

○ごみの減量化の推進

自然環境を守るための取組として、ECO（エコ）モデルタウン事業を実施しています。昨年度は、きれいなセンターへのごみの搬入量を減らすため、ごみの分類を15分類から18分類に増やす取組を試験的に行いましたが、今年度も継続し、更に21分類へ増やす計画としています。

また、生ごみの有効利用と減量化を推進するため、生ごみ処理機への助成、資源ごみを回収する団体への助成を継続し資源リサイクルに力を入れ、ごみの減量化を更に推進します。

●地域資源を活かしたまちづくり 【TPP対策】

○地域の魅力づくりの推進

本市の豊かな自然に育まれた農産物の商品化の支援やブランド化決定しました。このドラマ放送を期に観光客の増、地域経済の活性化につなげていきます。

なお、引き続き「サンフレッチェ広島」「ワクナガレオリック」といった日本を代表するトップレベルスポーツの応援・支援を市民の皆様とともに行うなど、各地域の宝を「オール安芸高田」の地域資源ととらえ、地域活性化に取り組めます。

の推進事業については、引き続きJA広島北部と連携し、「三矢シリーズ」等の販売促進と新たな農産物や薬用作物の加工及び商品化を支援します。また、「あきたかたのたからブランド」の開発・販売促進を支援するとともに、6次産業化についても積極的に取り組みます。更に、アグリフーズの冷凍庫整備に対して助成を行い、地場野菜の学校給食への活用拡大と調理用トマト等の市場への供給拡大を図ります。

○農林業振興の基盤整備

国の補助を活用し、ハウス栽培を振興し年間を通して所得が得られる農業を支援する「産地パワーアップ事業」や「経営体育成支援事業」をはじめ、「担い手機械等整備支援事業」や市とJAが共同拠出した「農業後継者育成基金」を活用し、県立農業技術大学の学費等を支給するなど、将来の農業を支える担い手の育成及び確保にも継続して努めます。あわせて、循環型農業の推進として土づくりを支援します。

また、羽佐竹地区大規模農業団



高校生による神楽甲子園